

クリエイティブ京都^{M&T}

Dec. 2005

12

No. 006

Management & Technology for Creative Kyoto

がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

財団理事へのインタビュー“みやこの風”	1 ▶ 2
異業種京都まつり2005	3 ▶ 4
ビジネスパートナー交流会2006	5 ▶ 6
ブログ講座のご案内	7
初級シニア講座のご案内	8
創援隊交流会	9
大学リエゾンオフィス紹介	10
設備貸与制度	11 ▶ 12
受発注コーナー	13
遊休機械設備コーナー	14
京都発!我が社の強み	15
中小企業技術センターの事業から	16 ▶ 17
研究報告から	18
業務紹介	19 ▶ 20
経済指標	21 ▶ 22
行事予定表	23

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/>

財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

恵まれた自然の中で、 独創的な創造企業をめざして

財団法人京都産業21では、京都府内に本社を置き、国内外で活躍している企業トップの方々を理事にお迎えして、培ってこられた経験と斬新なアイデアをヒントに、京都産業の振興と発展に役立てるさまざまな活動を行っています。

今回は、鷹ヶ峰三山ふもと、歴史的な伝統を背景に自然美の中で多彩な事業を展開されている株式会社しょうざん代表取締役 松山 靖史 氏にお話を伺いました。
(聞き手:企画広報グループ)



株式会社しょうざん
代表取締役
松山 靖史 氏

プロフィール

昭和18年生まれ。
昭和41年立命館大学卒業。
昭和38年(株)しょうざん入社、平成3年代表取締役就任、現在に至る。
現在、(財)京都産業21理事を務めるほか、西陣織工業組合副理事長、(財)和装振興財団理事、京都スポーツ振興特別委員会委員長などの公職を務める。

会社紹介：鷹ヶ峰三山を借景に3万5千坪の広大な敷地の中で、しょうざん・光悦芸術村事業を展開しております。

—しょうざん・光悦芸術村の概要や事業の現況についてお聞かせください。

松山●光悦芸術村というのは、もともと徳川時代に本阿弥光悦が京都鷹ヶ峰に開いた芸術村ですが、偶然にも時代を超えて私たちがその場所にいるということです。また、当時芸術村ではものづくりが盛んで、ずいぶんいろんな職人がいたということです。そう考えてみますと偶然か必然かわかりませんが、このような場所にいるということはありがたいことです。与えられた歴史、伝統、環境を活かさなければならぬと考えています。

しょうざんはものづくりの会社で、原点はメーカーです。食、サービスの方もいろいろありますが、それもメーカーの指向でものを考えています。それがこの場所を与えられた使命だと思っております。

現在の主力事業の一つである和装は、それが持っている伝統産業の深さ、それは京都がもつ付加価値なのです。付加価値の高いもの、精神性、歴史・伝統の奥の深さなどは和装を手がけることによっていろいろ教えられる面があります。それが他の事業に浸透していつているというのは大きいです。和装は精神的な柱であり、ものづくりの深さであり、原点です。

—創業から今日までを振り返り、会社の歩みをどう見ておられますか。

松山●創業者のDNAが企業のDNAにつながっていると思っています。創業当時、ウールの着物を作ったというのは、今から思うとなかなか考えられないことです。綿とか絹しか使わなかった時代にウールを着物に使うというのは、突拍子もない発想ですね。

創業者は常にいろんなことを考えていたのですね。

事業がうまくいかなかった時代から常に夢をもち、それがたまたま、ウールにつながったのです。そして可能性のあることをどんどん取り組みました。そのDNAが今も続いているのですね。常に挑戦するという社風が続いています。

人は強い思いをもつと、ある程度、夢を実現することが出来ると思います。当社は失敗の連続なのですが、夢を持ち続けたということで現在があると思っています。

—この場所にいるだけで、ものづくりの環境とはいかにあるべきか、と考えてしまいますね。現代の光悦芸術村の想いをお聞かせください。

松山●事業を営む環境として、自然にかこまれた場所で事業を行うというのは贅沢なことです。事業効率を考えると、ビルの中で社員と常について仕事をしている方がよく、平面的に点在している事業所での事業活動は、非効率極まりないと思います。しかし、その非効率が分社的な意識を生んでいると思います。社員が、それぞれ独立した事業だという気持ちをもてるというのはプラスの面です。

目に見えそうにないさまざまな事、例えば、物の考え方、創造する力に栄養素を与えられている感じがします。また、自然と共にあるということは、本来人間がもっている本能の欠落をある程度予防し、世の中の変化に対する予知能力を高めることに役立っていると思われま。今の時代はコンピュータを駆使し、データベースをつくり、ある程度事業を予測することができますが、これからは、コンピュータに頼るのでなく、人間が持つ本能や感性が大事になってくると思います。

そういう意味で、ここはありがたいところで大事なことを自然が教えてくれると思っています。当社のようにアナログ的に自然と共に歩む企業があつていいのではないかと、また、そういうことが必要とされる時代が到来するのではないかと考えています。

—今後の目標、抱負についてお聞かせください。

松山●社会が必要としているものがどれだけできるか、京都で事業を営んでいますので、付加価値の高いもの、だれでもできるものではなく社会性のあるもの、当社しかできないものをどうつくっていくかが大きな課題です。そうなりますと素材が大事になりますね。

当社のヒット商品を振り返りますと、素材がしっかりしていて、



奇をてらわない、華美でない、素朴なものである、素直なものづくりができていくということにつけるのではないかと考えます。これからの時代、素材についてはますます重要になってきます。素材そのものが持つ力をものづくりの人間が引きだす眼力を持たなくてはなりません。

—企業理念についてお聞かせください。

松山●創業者の時代は圧倒的な力で社員を引っ張っていたので、経営理念のようなものは必要ありませんでした。創業者が亡くなってから、社員を結束させるためには、ひとつの理念というのが大事であろうということで、作成しました。集団体制になり組織化されてきますと、どうしても組織の中の精神的な柱である企業理念は必要と考えます。

経営理念

社会の変化と動向を注視し 会社の発展と永続性を期す
 会社の発展と共に我々従業員の生活を向上させる職場であること
 創造と信頼ある物創りに徹し 広く社会に貢献すること

—松山社長の人となりについてお聞かせください。

松山●絵とスポーツが趣味ですね。絵とスポーツというのは、静と動というように全く異なるようにみえますが、体力が要するという意味で共通したところがあります。キャンパスに向かって絵を描くということは大変しんどく体力のいるものです。

絵を始めたのは父親から無理矢理に勉強するよういわれたのがきっかけです。私自身はそんなに絵心はありませんでしたが、メーカーとしての将来を心配したのでしょうか。そんなわけで、若い頃からヨーロッパに行かせてもらい、当時、師事していた絵の先生と二人で1年近く各地を旅行し、名だたる美術館はほとんど行きました。それが今に非常に役に立っています。また私は40代の頃、当社から離れた経験があります。5年近く会社を離れ、絵に没頭しました。その間にこれまで培ったことが間違いなかったと確認できたことがよかったと思います。芸術や文化との出会いは私にとって貴重な経験となりました。

フランス文学を専攻している人がおられ、その人から文学について教えられました。文学と絵画、音楽、とくにオペラからは、非日常なものを体験することによって審美眼、ものを見る力、これがいいのか、悪いのかという瞬時の判断をし、見分けられる力がついたと思います。

また40歳代の後半頃から歳を重ねるに連れて勇気がなくなり、挑戦するとか、戦う力がなくなってくるのを強く感じましてね。

それではいけないと、一から体を鍛え直し、現在でもスキーの大回転、スピード系の競技に挑戦しています。ヨーロッパにいた時、経営者はみんな、危険を冒してもいろんなスポーツをやっていますね。それは外国人経営者がもつエネルギーだと思います。

経営者のバックボーンとして、趣味とかいろんなものに挑戦するということは大切だと思います。常に企業は挑戦していかなければならないし、トップには社員をひっぱっていく力が求められるからです。

—京都産業の活性化に向け様々な取り組みをされていますね。

松山●京都というのは、世界からみても非常に可能性がある都市であると思います。ミラノとかよくあちらこちらへ行くのですが、京都がもつブランド力は、ものすごいものです。繊維から食、そしてIT産業までどこか結びついたところがあって、それは京都がもっている土壌なのです。付加価値の高いものを生み出す土壌があるわけです。これは京都の歴史に培われたもので、どこの都市にもない京都の持つ大きな財産です。京都には大きな可能性があると思うますね。

今後の伝統産業の再生についてですが、まず、従来の再生というのは非常にむずかしく、かつての伝統産業はもう蘇らない、と考えています。これからの京都の伝統産業は第二創業の視点が必要で、まためざす方向は国際的なものであるべきだと思います。世界に発信していけるものが京都には十分あります。伝統産業も試行錯誤を続けていますが、やはり世界的な市場を目指していこうとすれば、価値と価格は非常に大事なことです。それは、アジアはひとつであり、また多様であるという概念のもとにもものづくりをはじめていかなければと思います。

—京都の起業家、中小企業経営者へのメッセージ

松山●経営者というものは、常にもつていなければならないと思います。また、執念を持つ、諦めない、常に前向きで挑戦する気持ちがあれば、なんとかなるのではないのでしょうか。そこには気力が大事で、そして集中力が生まれます。根本的なのは体力ということになります。



夢と情熱を持ちつづける限りいくら歳をとろうが青春であるということですから、そういう心の持ち方が、これからの時代の経営に非常に大事だと思います。

—京都産業21に対する期待

松山●産学公の連携ができる時代になりました。お互いの垣根を取り払い、交流を盛んにするというのが財団の大事な使命ではないかと考えます。そうすると学生の起業家が生まれてきます。そういうことが自然に起こる土壌ができてくるということが日本には大事なことです。日本は資源がなく、人が資源です。また、それは世界に負けないような資質なのです。人の資源をうまく使っていく社会の仕組みにしていく、それが、財団が担っていく大きな課題・使命だと思います。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 企画広報グループ

TEL:075-315-9234 FAX:075-315-9091
 E-mail:kikaku@ki21.jp

87企業・団体・大学が参加 第9回異業種京都まつり開催される

2005異業種京都まつりが10月27日(木)京都全日空ホテルで約1,050名の参加者を集め、開催されました。

オープニングセレモニーでは京都府異業種交流会連絡会議会長中沼壽氏による挨拶があり、「自社をうまくPRするためには何か一品持ち寄り、モノをきっかけにするのがよい。この機会にお互いを知り合い、理解し合おう」と述べられました。

その後、テープカットの合図でオープンとなり、会場は多くの来場者でにぎわいました。会場内の各コーナーでは、盛んな交流が行われ、また講演会においては有益なお話を伺うことができました。



テープカット(左より):広瀬邦明氏(独)中小企業基盤整備機構近畿支部 支部長代理)、中沼壽氏(京都府異業種交流会連絡会議会長)、辻本泰弘氏(京都府 商工部長)、中村彰(財)京都産業21 専務理事)

10:15
オープニングセレモニー
10:30
テーブル交流会開始
11:00~
産学交流講演会
産学交流
プレゼンセッション開催
15:00
情報化プラザ開催
17:00
情報交流懇親会開催

テーブル交流会

テーブル交流会では、産学の個別マッチングの場、異業種交流グループおよび企業の新商品・新技術の開発の場、新市場開拓、起業化の場として、87企業・団体・大学(100小間)が参加され、これまでの最高出展となりました。今回は「産学交流ゾーン」を設け、より具体的な交流を目指すとともに、伝統産業からIT産業まで各社自慢の商品が出展され、新商品の説明や販促、販路開拓、連携など積極的な展開が図られました。また、産学・業種・業態などの垣根を超えた熱い交流・商談が行われ、大きな成果が期待される交流会となりました。



産学交流講演会



テーマ/「過熱水蒸気の新展開と産学連携

ーヘルシオ(シャープ社製ウォーターオープン) 研究開発まで」

講師:宮武和孝 氏(大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授)

大阪府立大学大学院の宮武教授を講師にお迎えし、過熱水蒸気を利用したウォーターオープン「ヘルシオ」の研究から開発に至るまでの産学連携による取り組みについて講演いただきました。過熱水蒸気の特徴(熱媒体)、及びその生成法と利用のポイント、過熱水蒸気の応用展開(ヘルシオの事例)について詳しくお話しいただき、また、産学連携の現状と今後の課題についても講演いただきました。そのポイントは以下のとおりです。

現状

- ・大学や公的研究機関は、企業にとって技術ニーズの宝庫であること
- ・大学などの技術シーズと企業側のニーズを繋ぐ機会と場所が少ないこと
- ・シーズとニーズの両方を把握している人材が少ないこと
- ・共同開発におけるタイムスケジュールの認識に研究機関と企業に大きな差があること

今後の課題

- ・技術シーズとニーズを繋ぐ機会、場所、人材の創出・育成が重要であること
- ・共同開発におけるタイムスケジュールを企業側に合わせていける研究機関側の仕組みづくりが必要であること(研究開発過程の段階ごとに異なる)
- ・共同研究などにおける知的財産権取扱いの見直し(テーマ毎、研究の段階毎に変える必要がある)
- ・秘密保持に関する研究要員としての学生の取扱規定の整備が必要であること(大学の場合)

最後に、産学連携の取り組みは百歩先の夢を追いながら人より一歩先を行くという、産と学が共通の理念を持つことが大切であるとのお話で講演をまとめられ、参加者の多くが感銘を受けました。

ワイガヤ産学交流プレゼンセッション



大学の技術シーズをもとにしたビジネスプランの発表および学内ベンチャーのプレゼンテーションが行われ、「新連携」の糸口になりました。

京都大学発シンクタンク;NPO 法人KGCの事業紹介

「京大発シンクタンクが明かす産学連携の秘訣」では、理事長柴田有三氏にNPO法人KGCの活動について伺いました。

●NPO法人KGCの事業について

NPO法人KGCは京都大学の様々な分野の研究者を中心に、未来社会の多様性を高めるシンクタンクとして、2001年2月に設立しました。(2003年9月にNPO法人化)。主な事業は、産学連携による研究プロジェクトのプロデュースです。

●産学連携の秘訣について

多くの中小企業は、産学連携に対して資金的なことから敷居の高さを感じていますが、成功している中小企業は、小額の共同研究費で連携を実現させています。それらの中小企業に共通する特徴は、経営者や技術者が、大学の研究者のモチベーション維持に不可欠な知的好奇心をくすぐるポイントを心得ていることです。



●プレゼンされたテーマについての反応および感想

多くの参加者から個別で産学連携の相談がありました。ほとんどの相談内容は、大学と共同研究を行いたいが、研究者の知的好奇心を十分に刺激できないのではないかという懸念でした。しかし、研究者の視点で見れば、事業のいずれも、知的好奇心を刺激するに足る内容でした。

我々の役割は、産学の認識の違いを埋めることです。産学連携に興味のある中小企業の方々も気軽に相談していただきたいと思います。

大学の技術シーズをもとにした ビジネスプランの発表および 学内ベンチャーの プレゼンテーション

- ①NPO 法人NGCの事業
- ②大学の技術シーズをもとにしたビジネスプラン発表
- ③大学発ベンチャー企業よりプレゼンテーション

情報化プラザ



テーマ/「使わな損!!ブログ活用による企業ホームページ必殺構築法」

講師: 咲本勝巳氏 時計台ネット 代表・マーケティング・コンサルタント

現在、日本でのブログ開設者数は約500万人、その活用方法は個人の情報発信ツールに止まらず、中小企業のホームページ構築のための必須ツールとなってきています。

今回の講演では、日本のブログ事情から、ブログツールについて話をされました。ブログツールは、たとえばネット通販のホームページでも簡単に構築・運営できたり、SEO対策(検索エンジンによるキーワード検索上位表示対策)にも、たいへん有利になるとその有効性を強調されました。また、ブログの主な機能(トラックバック機能やムーバブル機能)の説明がありました。

後半は、ブログでつくられた代表的なホームページが紹介され、ブログツールで作成することのメリット、検索されやすくするためのノウハウを伝授していただきました。

また最近では大企業もブログのページを充実させており、エンドユーザーとコミュニケーションをはかることで、支持を増やしていくツールとなっている現状が報告されました。

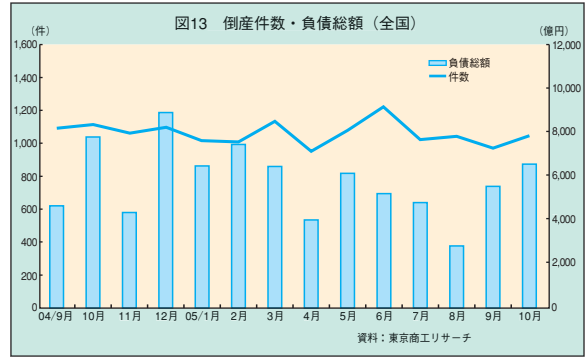
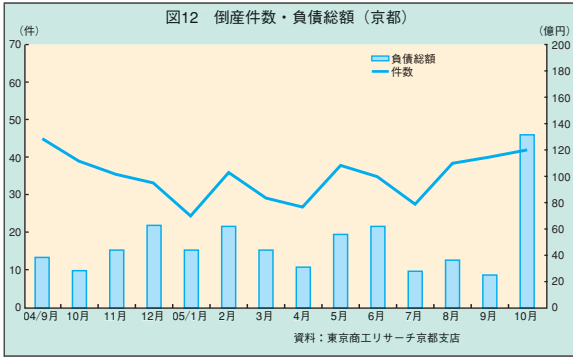
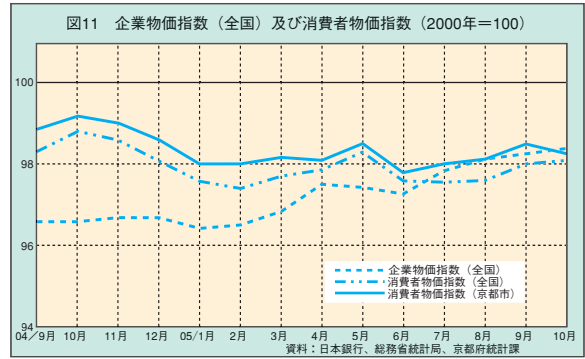
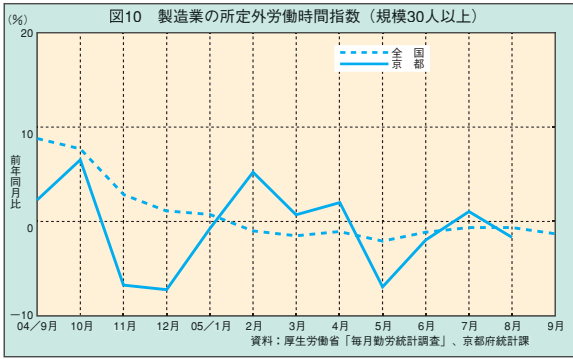
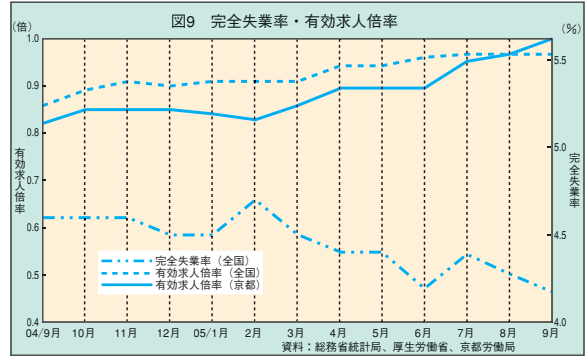
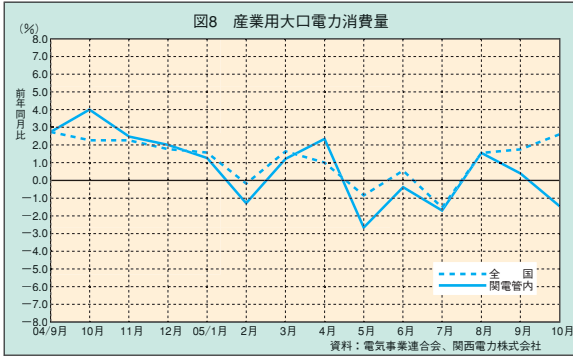
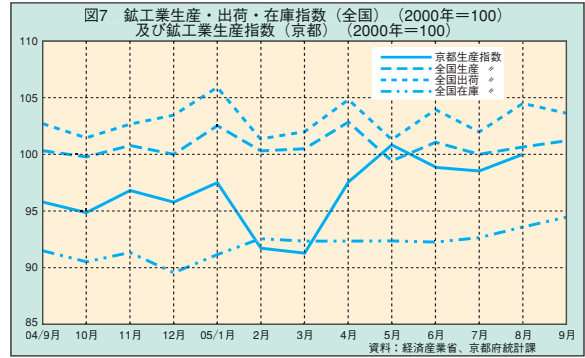
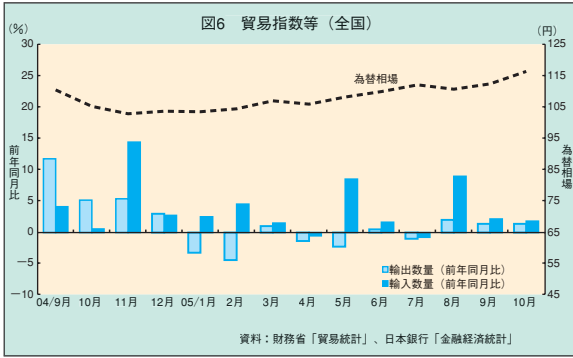
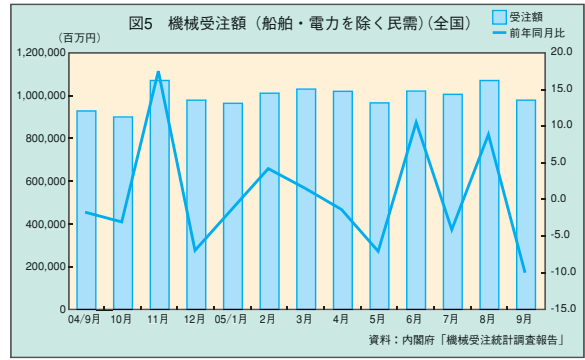
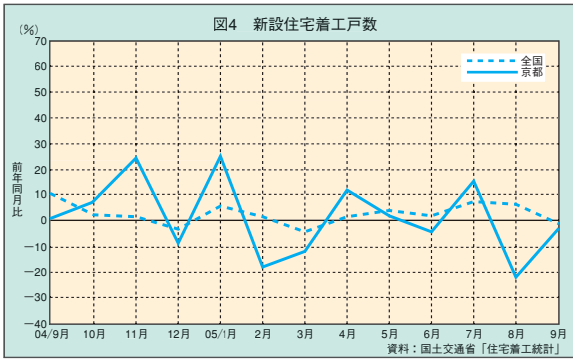
ホームページ開設の意義・目的や、マーケティングコンセプトの設定などブログに関する制作のポイントや裏技など興味深いお話に、多くの参加者の学ぶところは大きかったと思われます。



【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 産業情報部

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720
E-mail:info@ki21.jp



※ 経済指標の詳細データは、http://www.mtc.pref.kyoto.jp/ce_press/no_006/economic_indicators.htmに掲載しています。

【お問い合わせ先】 京都府中小企業技術センター 企画情報室 情報・調査担当 TEL:075-315-9506 FAX:075-315-1551 E-mail:joho@mtc.pref.kyoto.jp

京都ビジネスパートナー交流会2006

126社11グループ出展決定!

会期 ● 2006年2月23日(木)24日(金)10:00~17:00 (24日は16:30終了) 入場 ● 無料
会場 ● 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池) 主催 ● 京都府 財団法人京都産業21

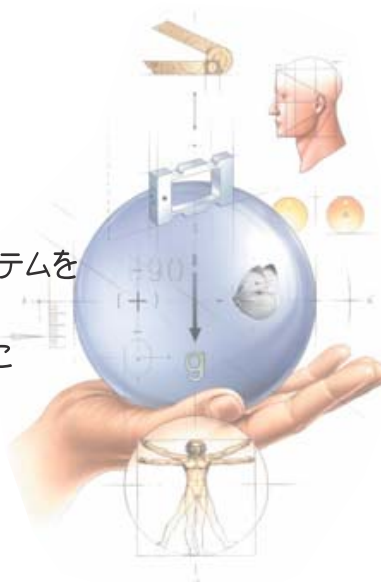
<p>中小企業展示コーナー 府内中小企業が製造した製品(ソフト)、加工部品、また、それらのパネル等を展示。</p>	<p>イベントホール 両日開催10:00~17:00 (24日は16:30終了)</p>
<p>京都府試作産業推進コーナー 京都府、(財)京都産業21では、京都の高い技術力を備えた優れた中小企業や大学の集積等を活かして「試作」を京都の新たな産業にする取り組みを進めています。このコーナーでは「京都試作産業プラットフォーム」などをご紹介します。</p>	
<p>技術アライアンスコーナー 自社製品の品質向上、コスト削減、新製品の企画などのために新技術、新工法を求め他社との連携を模索するメーカーと優秀な技術を持ち提案型営業を得意とする中小企業とのマッチングの場。 参加メーカー:54社(予定) ※本コーナーへの申込は別途、ご案内します。</p>	<p>アネックスホール 両日開催11:00~16:00</p>

【併催イベント】

<p>きょうと産学連携ビジネスミーティング (1)産学連携成果プレゼンテーション (2)大学、研究機関テーブル出展・相談サロン (3)大学、研究機関ポスター・パンフレットセッション (4)金融機関相談コーナー</p>	<p>ルームF・G・H 両日開催10:00~16:00</p>
<p>京都“ぎじゅつ”フォーラム2006 (1)平成17年度京都中小企業技術大賞表彰式 (2)講演 テーマ:「企業のか〜伝承せよ!ものづくりの技」 講師:(株)山岡製作所 代表取締役 山岡 祥二氏 [講師プロフィール]68年京都市立伏見工業高等学校精密機械科卒業、同年(株)山岡製作所入社、'80年取締役就任、'91年代表取締役就任。現在、(社)京都工業会理事、(協)京都府金属プレス工業会理事、経済産業省「日本ものづくり技能継承と人材育成に関する検討委員会」委員等。</p>	<p>ルームB1 23日10:30~12:10</p>
<p>情報化プラザ 事例発表 テーマ:「中小企業はこんなITで経営課題を解決しました」</p>	<p>ルームC1 23日13:00~16:00</p>
<p>京都ものづくりフォーラム2006 テーマ:「オンリーワン技術とチャレンジ精神」 講師:シャープ株式会社 相談役 辻 晴雄氏 [講師プロフィール]55年関西大学卒業、シャープの前身である早川工業に入社。'83年専務取締役、'86年取締役社長に就任、'98年相談役に就任。'86年には社長就任と共に、世界に先駆け液晶ディスプレイ事業の立ち上げに成功。液晶付きビデオカメラ(液晶ビューカム)、携帯情報ツール(ザウルス)、大型液晶カラーテレビ(アクオス)など画期的な応用商品を次々に市場へ送り出してきた。現在、(社)関西経済連合会常任理事、(社)経済団体連合会常任理事等。</p>	<p>ルームA 24日10:30~12:00</p>
<p>国際化セミナー テーマ:「日中間の政冷熱下にてける今後の対中ビジネス」 講師:環日本海経済交流センター長・元伊藤忠商事 常務取締役 藤野 文悟氏</p>	<p>ルームB1 24日13:30~15:00</p>



計ることの未来を
見つめ続けるイシダは、
さまざまな計量機器・システムを
ご提供することで、
豊かな明日の社会づくりに
貢献してまいります。



夢も未来も はかりたい

株式会社イシダ <http://www.ishida.co.jp>

本社 京都市左京区聖護院山王町44番地
〒606-8392 Tel(075)771-4141


東京支店 東京都板橋区板橋1丁目52番1号
〒173-0004 Tel(03)3964-6111

滋賀事業所 滋賀県栗東市下鈎959番地1
〒520-3026 Tel(077)553-4141

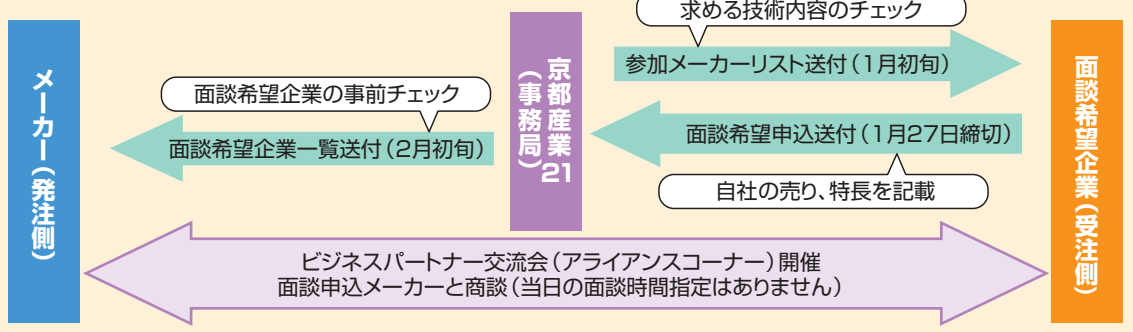
メーカー54社が参加!～技術アライアンスコーナー～

新たなビジネスパートナーを求め、京都市内外のメーカー54社(前回45社)が参加されます。大きなビジネスチャンスです。積極的なご参加を!(正式なご案内は年明けにさせていただきます)

【参加メーカー一覧(50音順)】

(株)アスク(大阪府枚方市)	(株)クボタ枚方製造所バルブ事業部(大阪府枚方市)	太陽精機(株)(滋賀県高島市)	
(株)アルバック(神奈川県)	(株)コースシステム(京都市)	竹中エンジニアリング(株)(京都市)	
(株)インダ(京都市)	(有)サカエリック自動機(京都市)	竹中電子工業(株)(京都市)	
井上特殊鋼(株)(京都市)	サンコール(株)(京都市)	(株)TAC(京都市)	
(株)イマック(滋賀県守山市)	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション(京都市)	(株)榎本チエイン(京田辺市)	
岩谷瓦斯(株)(滋賀県守山市)	(株)島津製作所(京都市)	トクデン(株)(滋賀県高島市)	
NECマシナリー(株)(滋賀県草津市)	シャープ(株)(大阪市)	豊田工機(株)(愛知県)	
(株)NHVコーポレーション(京都市)	正保鉄工(株)(愛知県)	(株)七彩(京都市)	
オムロン(株)(滋賀県草津市)	(株)城下エンジニアリング(愛知県)	(株)南谷製作所(愛知県)	
オムロンヘルスケア(株)(京都市)	星和電機(株)(城陽市)	日新電機(株)(京都市)	
(株)片岡製作所(京都市)	ダイキン工業(株)(大阪府摂津市)	日本アルミ(株)(湖南省)	
木谷電器(株)(大阪府枚方市)	大信精機(株)(愛知県)	白光(株)(大阪市)	
(株)京都製作所(京都市)	大日本スクリーン製造(株)(京都市)	パール工業(株)(大阪市)	
京都パステック(株)(京都市)	ダイハツ工業(株)(大阪府池田市)	平田機工(株)関西事業部(滋賀県)	
(株)クボタタタ宝寺事業センター(大阪府八尾市)		富士機械製造(株)(愛知県)	
		ホンカワミクロン(株)(枚方市)	
		(株)堀場製作所(京都市)	
		本間工業(株)(栗東市)	
		(株)宮木電機製作所(亀岡市)	
		(株)村田製作所(長岡京市)	
		八千代工機(株)(東大阪市)	
		ユアサ産業機器販売(株)(大阪市)	
		(株)ユーシン精機(京都市)	
		(株)ユニソク(大阪府枚方市)	
		ローム(株)(京都市)	

【技術アライアンスコーナー参加までの流れ】



【お申し込み・お問い合わせ先】

(財)京都産業21 マーケティング支援グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240
E-mail:market@ki21.jp



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ www.pasona-kyoto.co.jp/

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階
滋賀支店 TEL.077-565-7737
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津

Blog入門講座

～日記だけじゃない!ビジネスに使えるブログのあれこれ～

主催:京都インターネット利用研究会

ブログ。「インターネット上の公開日記」と捉えられ勝ちですが、ビジネスにも非常に有効な手段として利用できます。更新が手軽に出来、トラックバックやコメント機能など様々な機能を持ち、現在日本で473万人※ものユーザーをもつブログ。これをビジネスに役立てない手はありません。

※総務省発表。平成17年9月末での数字。

当研究会でも、去る10月27日にブログをテーマに講演会を開催し、大変好評を得ました。そこで今回は、ブログについて、その基礎知識から、実際のブログサイトの作り方までを入門編として講座を開講します。

当講座で身につける知識…ブログに関する基礎知識について／ブログの優位な点、劣っている点／ブログを使っのビジネス／実際にブログを作ってみる etc

日 時	一回目 平成18年2月21日(火) 13:00～17:00 二回目 平成18年2月28日(火) 13:00～17:00 ※一回目、二回目は同内容です。どちらか1日を選んでご参加下さい。
講 師	稲本 俊一 氏(有限会社プロスパー代表取締役)
会 場	京都府産業支援センター2F(京都市下京区中堂寺南町134)
定 員	10名
料 金	京都インターネット利用研究会会員及びKIIC交流会会員…無料 一般…3,000円
申込方法	FAX(075-314-4720)か、専用申込フォームに必要事項(①会社名 ②参加社名 ③所属部・役職 ④E-mail ⑤TEL/FAX ⑥会参加の有無【KIIC交流会・京都インターネット利用研究会・非会員】)をご記入の上、お申込下さい。 http://www.ki21.jp/information/it_koushu/index_blog.htm
注意事項	お申込後のキャンセルは、それぞれの開講1週間前までにご連絡下さい。それ以後になりますとキャンセル料(テキスト代等の実費)を申し受けます。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業情報部(魚島)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720
E-mail:info@ki21.jp

ひとりひとりの人に、
機械のほうから合わせてくれる。
そんな、人と機械の関係。
センシング&コントロール技術で、
人と機械のベストマッチングを。

誰でもつき合える機械ほど、
すごい技術が隠されている。





Sensing tomorrow™

企業の情報化推進リーダー育成講座 情報処理技術者試験 【初級システムアドミニストレータ】のご案内

主催:財団法人京都産業21 協力:協同組合 戦略プランナー21

企業の部門における業務効率の向上などの業務改善を推進する「自部門の業務改善リーダー」の育成を目的とした講座を開催します。現状業務の問題点を把握し、それを解決するために業務の情報化を推進するための技能を身につけるのに最適な「初級システムアドミニストレータ」のカリキュラムに基づいて学習します。

中小企業におけるIT活用の推進者に相応しい人材に求められる知識の習得を目指し、**実際に試験を受けたい方にも有効な試験対策も盛り込んだ講座**となります。

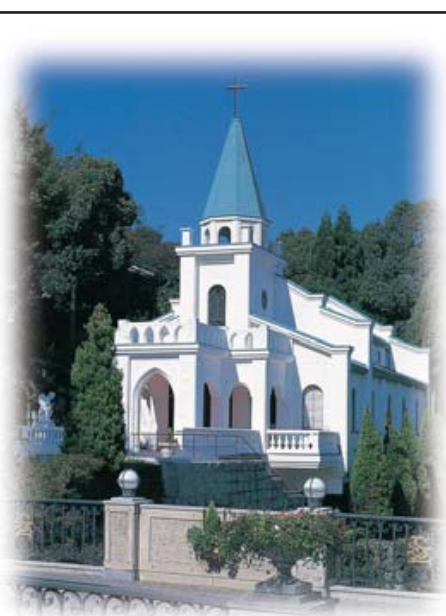
当講座で身につける知識…業務改善に関する技法/情報システムに関する一般的知識/コンピュータのハード、ソフトに関する知識/表計算の知識/データベースの知識/ネットワーク、セキュリティの知識等

日 時	平成18年1月19日(木)、1月27日(金)、2月3日(金)、2月9日(木)、2月16日(木)、2月24日(金)、3月3日(金)、3月9日(木)、3月17日(金)、3月24日(金) (10回シリーズ) いずれも18時~21時。
講 師	竹内 肇氏(合資会社パンカル 代表)
会 場	京都府産業支援センター2F(京都市下京区中堂寺南町134)
定 員	10名
料 金	12,000円。KIIC交流会・京都インターネット利用研究会会員は10,000円
申込方法	FAX(075-314-4720)か、専用申込フォームに必要事項(①会社名 ②参加社名 ③所属部・役職 ④E-mail ⑤TEL/FAX ⑥会参加の有無【KIIC交流会・京都インターネット利用研究会・非会員】)をご記入の上、お申込下さい。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業情報部(魚島)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720
E-mail:info@ki21.jp



恵まれた自然の中で、 独創的な創造企業をめざして。

- ◆京の料亭 千寿閣
 - ◆京料理 紙屋川
 - ◆チャイニーズレストラン 楼蘭
 - ◆焼魚肉菜レストラン ファーム
 - ◆とり料理 わかどり
 - ◆カフェテラス パウハウス
 - ◆日本庭園
 - ◆ガーデンチャペル セントオーガスティン
 - ◆ブライダルサロン
 - ◆しょうざんプール
 - ◆しょうざんボウル
 - ◆染織工芸館
 - ◆染織ギャラリー
- ◆きもの・帯 ◆アパレル ◆テキスタイル

しょうざん

光悦芸術村

〒603-8451 京都市北区衣笠鏡石町47(金閣寺北800m)
TEL.075-491-5101(代) FAX.075-495-2089
URL <http://www.shozan.co.jp/>

—首都圏で販路開拓を求める方へ— 第6回創援隊交流会(東京会場)参加企業募集中!!

第二創業歓迎!ベンチャー企業等の販路開拓を支援します!

当財団では、第二創業やベンチャー企業等で自社製品等の販路開拓でお困りの方と創援隊との交流の場として、「創援隊交流会」を開催しています。

創援隊はボランティアベースで販路開拓を支援するネットワークで、ベンチャー企業等の開発製品等の売り込みのサポートをします。**この度、首都圏で販路開拓を求める企業を支援するため「創援隊交流会」を東京で開催します。**

ただいま、創援隊メンバーへ自社製品等の販路開拓支援を求めるプレゼンテーション企業を募集していますので、ふってお申し込みください。

- 【開催日時】 平成18年1月27日(金) 午後2時~5時
- 【場 所】 東京全日空ホテル(東京都港区)
- 【申込方法】 「創援隊交流会応募用紙」に必要事項をご記入の上、持参・郵送又はE-mailでお申し込みください。
- 【応募資格】 京都府内に事業所又は事業の拠点となる場所を有するベンチャー企業又は創業を目指す方及び第二創業企業で、具体的な自社開発製品・商品を有し、販路開拓を目指す方。
- 【応募要領】 <http://www.ki21.jp>をご覧ください。(申込書もダウンロードできます。)
- 【応募締切】 平成17年12月23日(金)必着
- 【参加料】 無 料



※プレゼンテーション企業に対して、当財団で事前のプレゼンテーション指導を無料で実施します。

※創援隊交流会事業について詳しくは「創援隊」ホームページ→<http://www.ki21.jp/souentai/>をご覧ください。

※上記の他、平成18年3月2日(木)に新・都ホテルにおいて「創援隊交流会(京都会場)」を開催します。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 新事業支援部
ベンチャー支援グループ

TEL:075-315-8848 FAX:075-323-5211
E-mail:shinjigyo@ki21.jp

 **TOSE**
SOFTWARE

地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから

モバイルコンテンツまで

多彩なデジタルエンターテインメントを

創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営

グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA,Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

歴史、人、知を 産業と地域の振興のために

同志社女子大学 学術研究推進センター

「国際主義」と「リベラルアーツ」を柱に、新しい女性の育成と教育の創造を目指し、同志社女子大学は、130年の歴史を育んできました。私達が目指してきたのは、自然・人・社会との調和。その精神は、今、地球規模で希求される人類の命題となっています。

同志社女子大学では、次代を担う新しい女性を育成するとともに、これまで培ってきた研究成果を社会に還元したい。同時に、産業界や行政、地域の人々と手を携えて、さまざまな研究に取り組み、社会に貢献していきたいと考えています。歴史と伝統を糧に、未来を担う新しい社会・文化の創造を目指して、同志社女子大学は産官学連携事業を推進していきます。

当センターは、同志社女子大学の研究活動を高め、社会や地域への貢献をはかるために、全学的な学術研究推進業務を統括する機関として設置されました。地域社会との交流や産官学連携を本学の最重要課題の一つと考え、積極的な交流展開を行っています。当センターでは産官学連携推進業務だけでなく、研究者の業績管理や知的財産管理業務も担当していますので、学外の皆様の様々なニーズにすばやく対応いたします。

本学ではこれまでも様々な領域で既に地域社会との交流に取り組んでいます。例えば食品分野、情報通信分野等の企業との連携、語学の分野においても外部機関との連携の実績が蓄積されています。また、女子大学としての特徴を活かし女性向け商品を扱う企業のマーケティングや商品開発の支援にも実績があります。

さらに2005年4月に薬学部が開設され、これまで以上に広い分野に対して交流を深め、社会貢献を行うことができると考えていますのでご期待ください。

産官学連携を推進させるために 次のような取り組みを行っています。

- 本学教員の研究や社会活動にかかわる業績をホームページに掲載するとともに、それらの業績を掲載した“教員研究活動等報告書”を発行
- 本学の研究成果を掲載した“学術研究年報”、“総合文化研究所紀要”および“学術研究推進センター報告”を発行
- 学内研究プロジェクトを定期的に公開講演会として開催し、研究成果を広く学外に公開
- 様々な産官学連携に関するイベントに積極的に出席し、本学の研究成果を公開
- 本学の産官学連携事業を推進するためのパンフレット (DoRIS) を発行
- 本学教員の研究をわかりやすく紹介した“The Dreams of DoRIS”を発行

※DoRIS

…同志社女子大学リサーチインターチェンジシステム
産業界、行政、大学が互いに交流することで、相互発展の可能性は無限に広がります。本学をその拠点とし、産業・経済、行政、学術および地域社会における相互協力の輪を形成していきます。



【お問い合わせ先】

同志社女子大学DoRIS事務局
(学術研究推進センター内)

TEL:0774-65-8455 FAX:0774-65-8680
E-mail:DoRIS-t@dwc.doshisha.ac.jp URL:http://www.dwc.doshisha.ac.jp/